

No.278  
1985年7月 第1号発行  
2008 August

平成20年 8月

# 波紋

PUBUSHER: 森松株式会社  
EDITOR: 小坂美香



## 第16回 元気が出る森松展



【開催日時】  
2008年10月2日(木)～10月3日(金)  
9:00～17:00

【会場】  
森松株式会社本社ビル 5F

【テーマ】  
Change the Future  
～発見はいつもここから～

★皆様のご来場を社員一同心より  
お待ちしております。

副委員長 吉岡孝記

### 『森松展、準備開始。』

社長 森 直樹



今年で16回を迎える「元気が出る森松展」。今回、私は初委員長として準備を進めております。この森松展はこれまでに様々な試みが毎回行われております。生分解樹脂、静電気の発生、といった講演会、新型「エルダー」機のデモ、等々。しかしながら、この数年は来場者の減少が否めません。やはり年々、この行事、大いに盛り上げていきたいものです。

しかし16年という年月、森松展を人間にたとえて言うならば、第1回が1歳とすれば16歳に、30歳であれば46歳に...というほどの時間です。人間で言えば興味の対象は変化します。目線の方向や距離が変わるわけです。そして、来場される方々も当然徐々に入れ替わっていきます。そんな環境の中、常に注目を集めることの出来る展示会にするには、やはり変化し続けることが第一だと思います。行く前から内容の予想がつく様であればそれはそれでよくないか、むしろ後には言ってもなく数年は来る気分にはならないでしょう。

私はこれは別に展示会だけではなく、仕事でもこの変化し続けることが求められると思います。毎回同じ回答しか返ってこない、興味のないことしか提案してこない営業ならば頻りに顔を合わせる必要を感じません。また、顔を合わせてもあまり期待されることはないでしょう。製造や事務においても絶えず効率化、改善が求められます。レストランであっても料理も味もサービスも毎回全く同じであれば訪れる頻度は徐々に下がると感じます。(お店の人とよほど仲が良ければ別ですが)季節性や流行を取り入れることが出来る、柔軟な姿勢が、あってこそ訪れるお客さんに期待を持たれるのではないのでしょうか。

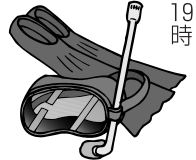
残り3ヶ月の準備期間、新たな企画を盛り込んでいけるよう頑張りますので、この「波紋」をご覧の皆様もお誘い合わせの上、ご来場よろしくお願ひ致します。

naoki@morimatsu.net

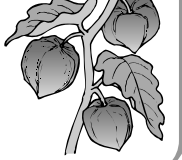
2008年 8月

の予定

30日(土)	23日(土)	22日(金)	18日(月)	17日(日)	14日(木)	13日(水)	10日(日)	9日(土)	4日(月)	2日(土)	1日(金)
第五土曜日休み	第四土曜日休み	生産会議 18時～19時	経営会議 15時30分～16時30分	CS向上会議 14時10分～15時10分	小坂美香さん誕生日	福重貞子さん誕生日	松本美代子さん誕生日	第二土曜日休み	誕生日会(7・8月生まれの方)	第一土曜日休み	河野光代さん誕生日



夏季休暇  
13日(水)～  
17日(日)



## 『いけばわかるさ!』

さて、突然始まりました波紋企画、「いけばわかるさ!」です。一言で言うと、「社長の旅行記」です。海外の話か?と思われるかも知れませんが、海外では仕事しかしていませんので観光ネタがありません(?)。そこで近くて遠い国内にスポットを当てて紹介していきたいと思ひます。第一回目は、「松山」。

愛媛県松山市のデータ：面積429km<sup>2</sup>(名古屋市の1.3倍) 人口51万(名古屋市の22%)  
名古屋からは飛行機で1時間足らず、電車では新幹線で岡山から3時間弱。



さて、松山といえば、「松山城」「道後温泉」「坂の上の雲」ミュージアムです。松山城に登り、松山の景色を一望する。そして「千と千尋の神隠し」のモデルにもなった道後温泉で一汗流し、隣の「道後麦酒館」で地ビールを一杯、そして司馬遼太郎の著作、「坂の上の雲」ミュージアムで日露戦争のキーパーソンである秋山好古・真之兄弟の生きた時代に思いを馳せるのはどうでしょうか。安藤忠雄設計による建物も見ものです。ちなみに移動手段としては松山には市電が走っておりますので、ゆったりと町並みを眺めつつ移動できます。夏目漱石の「坊ちゃん」の時代を模した列車も定時に市電上を走っております。

また、気になる松山グルメですが、独断と偏見では「鯛めし」です。やはり海の幸が豊富で、魚のすり身を揚げた「じゃこ天」も名物です。...といったわけでさらさらっと松山を紹介させていただきましたが、ぜひとも関連の本、映画を見てから訪れることをお勧めします。味わいが一層深くなりますよ!

そしてこの企画、いつまた機会が有るか判りませんが、また皆様にお会い出来るのを楽しみにしております!

社長 森 直樹

### 『電車通勤』

小坂美香(営業部)



電車通勤をするようになってから、なぜか決まって同じ車両の同じ扉から乗るようになっていました。周りを見てもそうでした。電車を待っている時、いつも同じ列に並んでいたり、車内でもだいたい同じ席に座っていたりします。

同じパターンを何年も繰り返していると、周りの人の行動も分かるようになってきました。ある女の方は、○○駅で降りると分かっている、ある男の人の前に必ず立ち席が空くのを待っています。その女の人の見ると、「今日もあそこ立つのかな?」と思ったり、そして別の人は、いつも時間ギリギリになって駆け込んでくるので、「もう少し余裕を持って行動したらいいのになあ」とか、私には関係のない事なのについて気になってしまいます。他にも、音楽を聴いている人の音漏れ、割り込み、扉付近で座り込んでいるなど、周りの事を気にしない人。

こうして周りを観察していると、いろんな人がいるんだなと改めて感じ、私はどうだろうとふと思ひました。周りの人の迷惑になるような事はしないように、気をつけて行動したいと思ひました。

### 『年齢と共に』

光田昭男 (企画営業部)



趣味はと聞かれれば、ゴルフと答えなければならぬ。休日にはプレイしている。腕前はと聞かれれば、ヘボゴルファーと答える。普通は年齢と共に経験を重ねて、腕前が上がるものだが、私の場合は、10年前と比較すると、年齢と同じく、スコアが増している。若い頃、上司に言われたことを思い出す。ゴルフなんかは、50才過ぎたらやればいいんだ！…まあいいか。忘れよ。

スコア低下には、確かに原因はたくさんある。運動不足・体力の低下など言い訳ばかり。私の周りのおやじゴルファーは、上達しているのは事実であり、悔しく思う。ドライバーの飛距離などは、30ヤード以上違うし、アプローチ・パターなどは、気迫を感じるくらいに真剣にプレイしている。私のパターを見て、みっちゃん駄目だ！いつも優しいことばをありがたう。おやじゴルファーの皆さん、感謝しています。

考えてみれば、以前は、ゴルフに対しての情熱もあり、1ラウンドの重みも違うことを感じる。もちろんプレイ代金のことだ。月に一度のラウンドに対して週3度以上の練習をしていた。クラブの手入れの違いも感じ、反省しなければと思う。7月より練習の回数を増やし、週3回のペースにもどし頑張っています。年齢と共にアフター5の練習も疲れます。たかがゴルフされどゴルフ がんばる

### 『いっぱい食わされた』

吉岡孝記 (営業部)



今年の春、家の近所に大型ショッピングセンターができて、家から車で5分ほどの距離で買い物に便利になると喜んでおりましたが、開店当時からある程度予想はしていたのですが家の前の道が混雑して休みの日などで出かけるにも一苦労で裏道を探して出かける日々が続いておりました。

開店当時は自車で出かけたつもりでしたが何度か行く内に飽きる物で無理をして渋滞の中で出掛けるのも面倒で最近あまり行かなくなりましたがひとつメリットがありまして外食するのは非常に便利な事です。いろんなお店があり和食、洋食、中華とさまざま夜は比較的すいていて近い事もあり便利で時々利用しております。

ある時食事をしようと出かけた時、前から一度入りたかったしゃぶしゃぶの食べ放題の店があったのですが、いつもすごい人の列でなかなか何時間も待つのが嫌で敬遠していたのですが、たまたますいており家族で食事をしました。牛肉と豚肉が有り野菜類はバイキング形式になっており一時間半でしたが腹いっぱい食べて堪能しました。

ところが一ヶ月ぐらいたったところ新聞を読んである記事を見つけ目が点になりました。あのしゃぶしゃぶの店がつかい直しをしていたとの記事でした。高い金払って使いまわした肉を食べさせられたかと思うと腹が立ちました。食べてしまった物は仕方なく別に腹を壊した訳でもなかったのですが、いやな感じがして、最近でもいろんな食の偽装のニュースが後をたたく、料理人のプライドや経営者のモラルなさにあきれるばかりですが、まあ今回はいっぱい食わされたってことかな？

### 『交通広場』

西垣浩司 (製造部)



妻の実家に帰ると決まっていた息子があそこの公園に「連れてって」というので、岡崎南公園へ行きました。公園には「交通広場」と「遊具広場」があり、そこで遊んできました。

「交通広場」には信号機など交通安全施設を配置したミニ市街地の中で、ゴーカートに乗りながら楽しく交通安全を学び、心豊かなふれあいと交通安全を学ぶ場としても利用されています。ゴーカート好きの息子も大喜びです。

「遊具広場」の方には「足踏み式カート」があって、意外にこちらのほうが楽しかったらしく、こちらで長時間遊んでいました。(私にとってはそのほうがありがたいです)

そのほかにも、鉄道車両の展示などもあります。SL「D51」は、金網がしてある為中に入る事や触れることもできませんが、名鉄電車「モ400型」は車両に入ることが出来、電車内に入ると昔懐かしい雰囲気を感じる車内になっている為、私は懐かしかったです。



## 『中国四川5.12大地震から感じたこと』

上海の倪さんより

2008年5月12日午後14時28分、世界を震撼させた四川大地震が発生しました。あっという間に汶川・四川・中国を揺り動かしていた。そして世界中の人の心を揺り動かしたのです。

災害は情け容赦がないものです。その残酷さが容赦なくわれわれに襲い掛かり、防災の大切さが身に染みるほど分かりました。地震後、人々が反省し始めました。もし建物がもうちょっと丈夫だったら、もし地震速報がもうちょっと早く出ていたら、もし人々の防災意識がもうちょっと高かったら、今回の地震がもたらした結果が少し違うかもしれないですね。しかし、これはあくまでもし…ならばの話ですね。しかし、我々は苦しみ過ぎた後にその苦しみを思い出し、教訓を汲み取ることで、次回は同じような結果を生じないようにさらに防災知識を勉強・訓練する。そして、建物の耐震度もさらに高め、地震速報も強化することですね。

今回の災害を通じて、人々の心と心がこんなに緊密に繋がっていることに驚き、さらに人々の心の底から親しみを強く感じたのです。周りにこんなにたくさん善良な人がいてくれたことで私達は世界からの暖かさを感じ、幸せな生活をしていると感じたのです。ドンドン増える寄付金のことや、身の危険をも顧みずに遭難した人を救出するなど、人々は自分の利益だけではないことに関心を持って、他人の生命を自分の生命のように、他人の利益を自分の利益のように、他人の悲しみを自分の悲しみのように思い……この社会の中で、私達はすべて一つの家族になりました。

地震発生後、日本の福田康夫首相より中国政府に見舞いの電報を送っていただきました。電報は「もし必要であれば、日本側は全力で支援を提供します」という内容でその後、日本側より素早く救援隊を2回に渡って青川に派遣して下り、救援活動をしていただきました。

今回の中国大地震で世界各国から支援を頂きました。そして地震後、我々の日本森松会社会社員が心配し、地震発生直後から合併会社に何時間にも渡って連絡し続けていただきました。彼らの安否を確認後、森会長及び森社長は直ぐ合併会社にお見舞いの電報を発送し、さらにお見舞い金を寄付してくれたのです。以上のことは私達にとって、暖かさを感じ、心を打たれました。

地震の発生から今まで、大切にするという言葉を何回も心に刻みました。震災は一ヶ月以上経った今でも、色んな人、色んな事を思い出す度に大切にするというを感じます。自分を大切に、命を大切に、友情を大切に、家族を大切に、今まで手に入れたことを全て大切にしたいと思います。

### 『ノスタルジックカー』

大橋康成 (配送部)



先日ポトメッセ名古屋で行った名古屋ノスタルジックカーショーに行ってきました。旧車、名車の展示です。おもに日産の車が展示されていました。特にスカイラインが、多く展示されました。年式で言うと昭和45年から47年式の車で俗に言うスカイライン(ハコスカ)のレストア車です。

レストアとは、簡単に言うと車体からエンジンを降ろしてから車内バラシ、ダッシュボード周りをハズシ、天部ハズシ裸にした状態から仕上げ作業を進めることがレストアです。車によっては、展示販売もしていました。価格は225万円から1200万円です。当時の新車販売価格の倍以上もします。他にTOYOTA 2000GTも展示され映画「007は、2度死ぬ」の中で国産唯一のポンドカーにも選ばれた車です。他にもマツダ、サバンナGSIIのレストア価格で240万円は、ビックリしました。個人出展車もありました。三菱ギャラン2000GSR・MR、TOYOTAカローラ(レビン・トレノ)特にスカイラインが多かったです。

純正部品の販売店も数件出ました。ほとんどが、フェアレディZ、スカイラインの部品です。なかなか手に入らない部品などは、あるかも知れません。外車では、BMW・フェラーリ・ポルシェ・ベンツなど20年前の車が展示してありました。レストア済みのBMWは、価格850万円です。バイクでは、個人出展車ですが、ホンダCB750の白バイ使用が展示されてました。

会場構内約2時間半ぐらいの見学ですが、十分見ることが出来ました。